

令和5年度の人事評価の結果が出ました！

県教委が令和5年度の人事評価の結果を公表しました。組合では、校長・教頭を分けて公表するように要求していましたが、残念ながら今年度も校長・教頭を合わせての公表になりました。組合では開示請求を考えています。

おさらい！人事評価制度って何だっけ？



- 2007年 人事評価制度がスタート（賃金には関係なし）
- 2016年 賃金リンクを実施。（県教委との交渉により、対象はS評価に限定）
- 2021年 県教委が全面実施を提示。
- 2022年（令和4年）再三の撤回交渉も及ばず、全面実施開始。

①勤奨手当（業績評価で決定）

特優（S評価）年0.4月加算 上限人数 5%
 優（A評価）年0.2月加算 上限人数25%

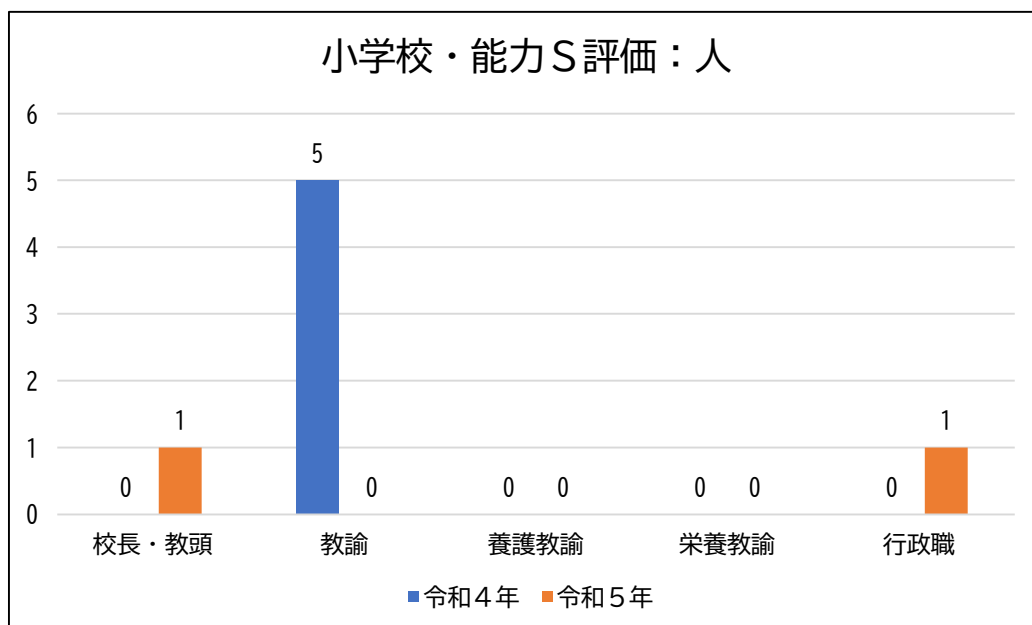
*事務職員・栄養職員は、行政職にあたるため業績評価は年2回

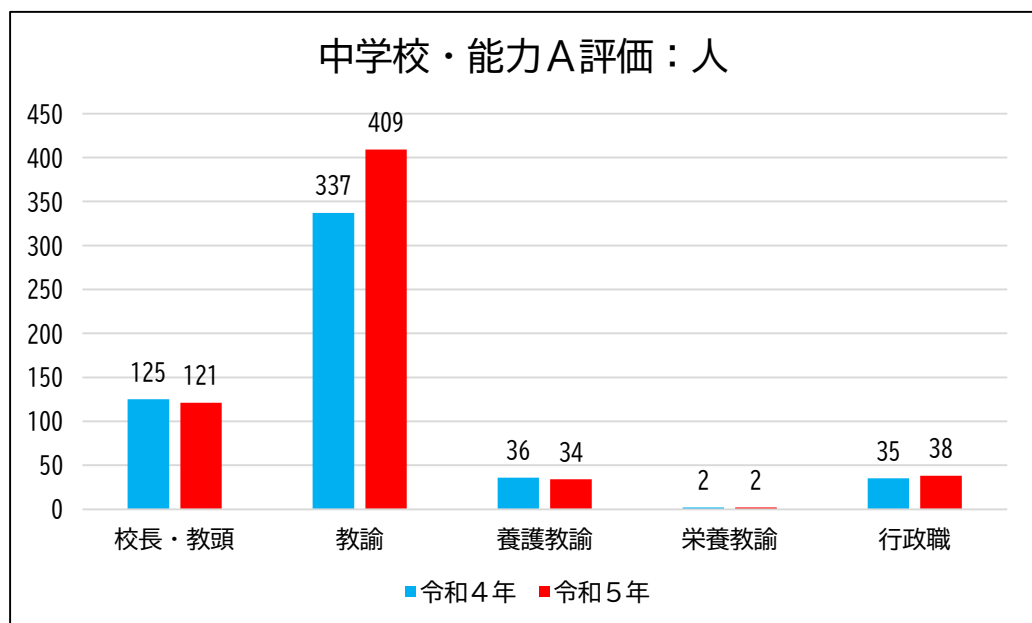
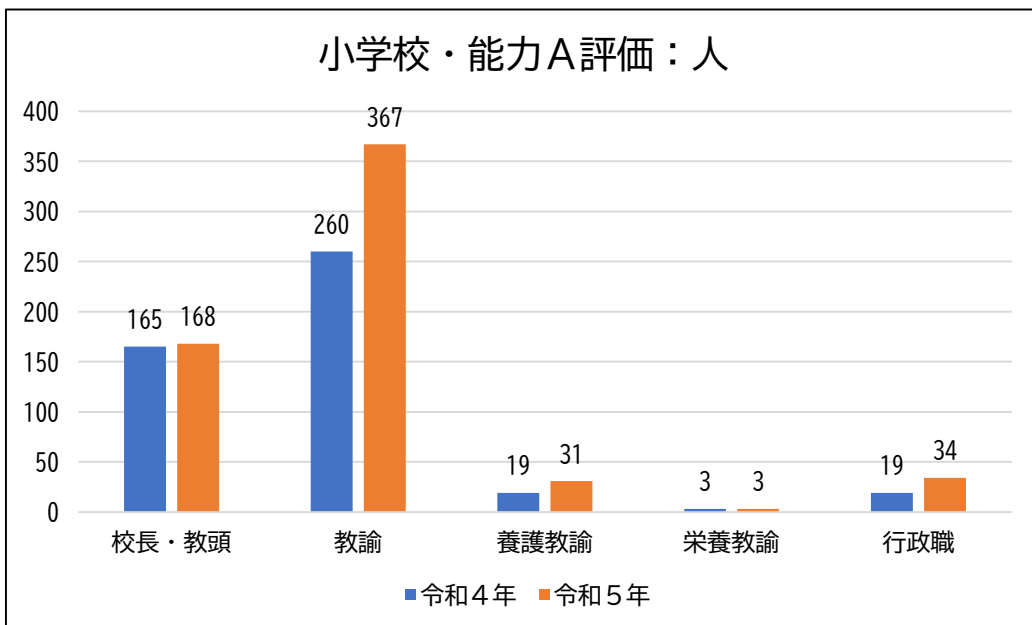
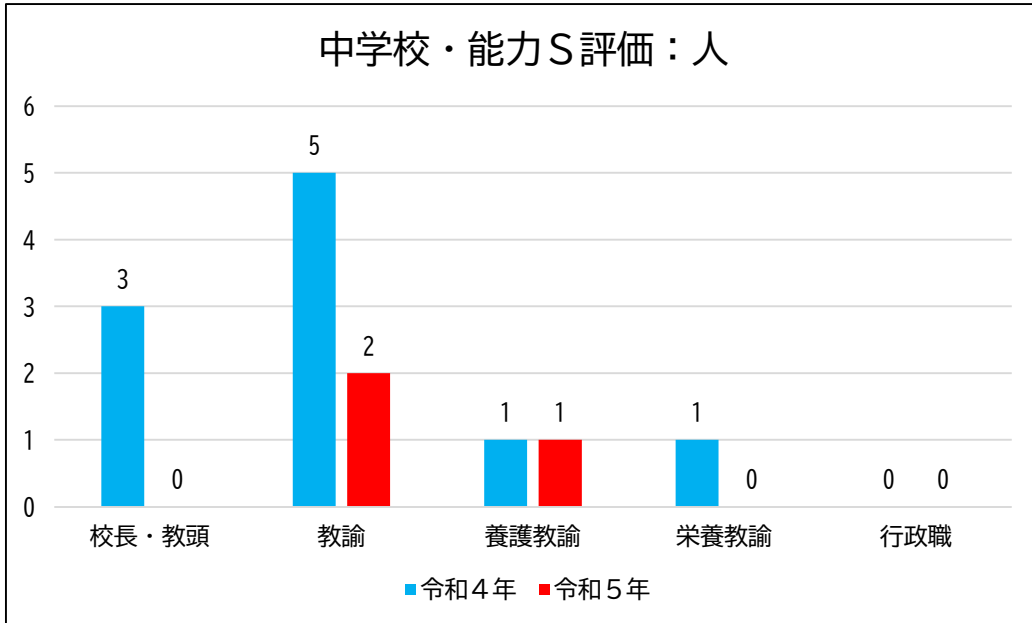
②昇給（能力評価と業績評価の両方で決定）

極良（S評価）4号給アップ 上限人数 5%
 特良（A評価）2号給アップ 上限人数15%

*S・A評価の人数に上限はないが、支給・昇給反映者は上限の%以内にする。

全教職員のボーナスから、年0.06ヶ月分差し引いて、S・A評価者の手当加算・昇給の財源に充てる。（B評価の方は、ボーナスを減らされていることとなります。）







令和5年度の能力評価では、前年より「教諭」の部分が伸びているわね。



昨年の交渉で「管理職」と「教諭」の差が大きすぎる点を指摘したんだけど、「管理職」の方は、ほぼ変化がないね。

小学校（管理職32%→34% 教諭8%→12%）

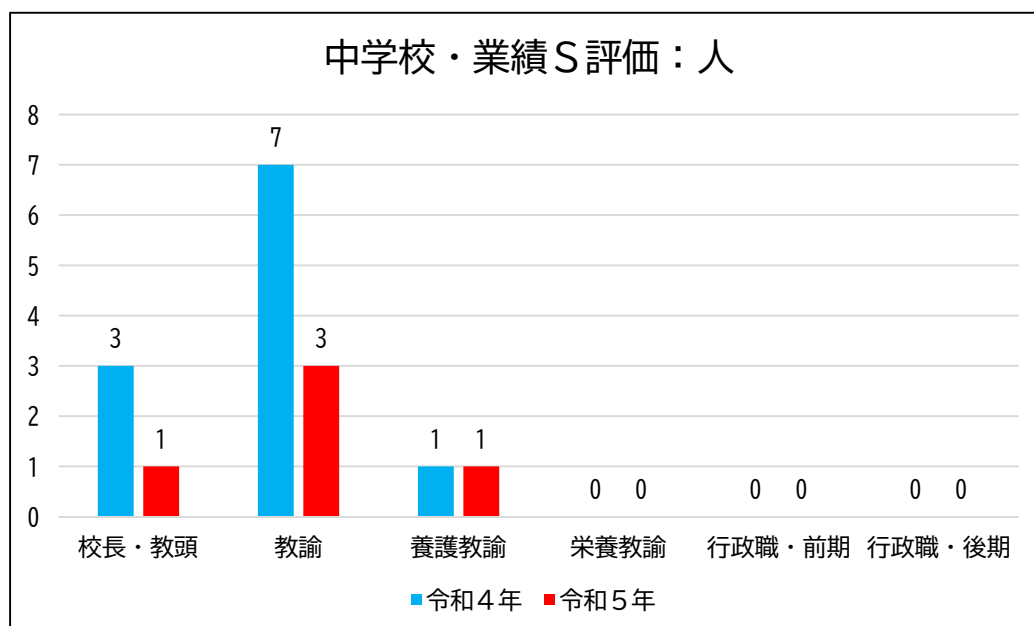
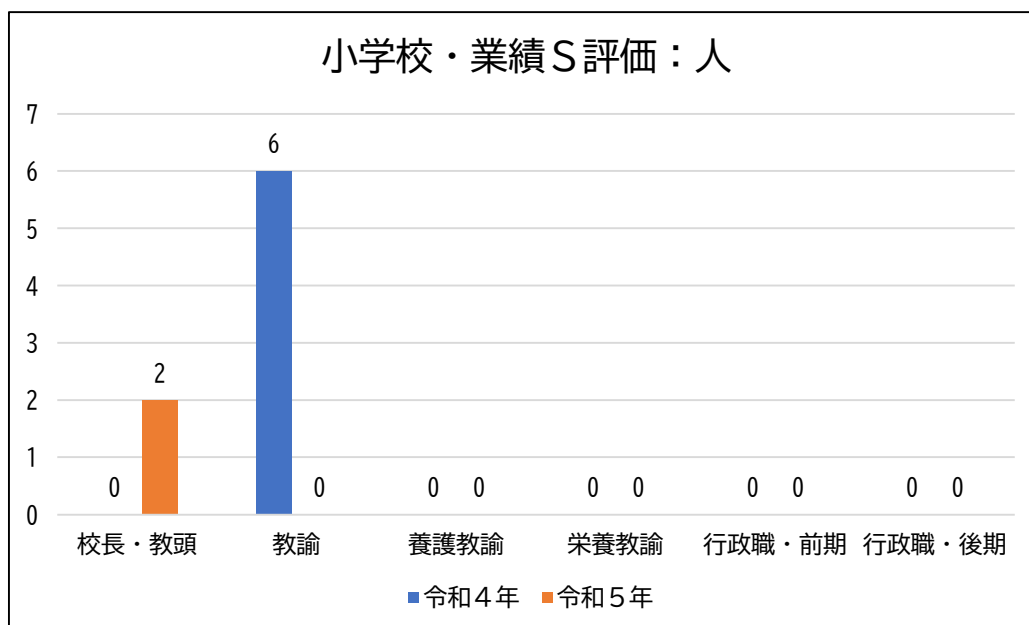
中学校（管理職44%→43% 教諭16%→24%）

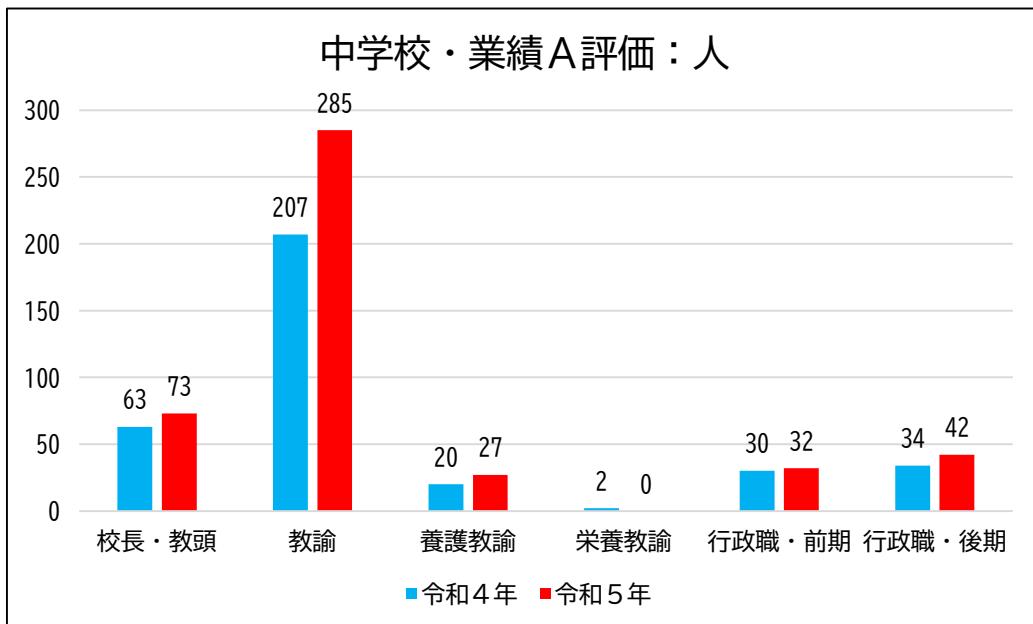
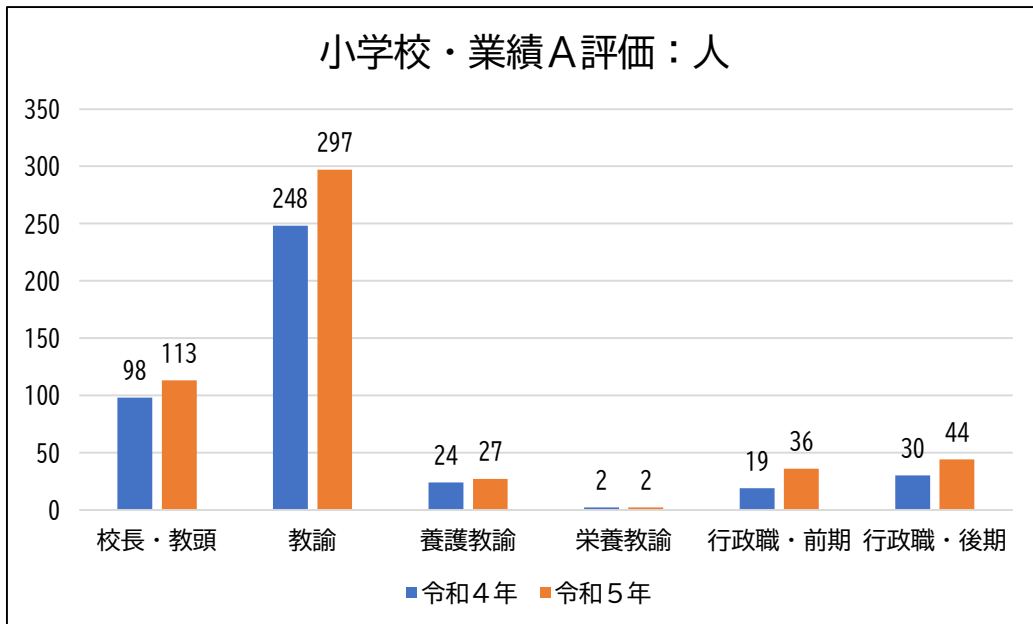


青森県って優秀な管理職が多いのね。



県教委に「評価基準や評価方法が変わったんですか？」と聞いたところ「以前と変わってません。」という回答だったんだ。つまり、賃金リンクが始まったとたん、優秀な管理職が増えたということ…。





業績評価は、全体に増えているわね。ボーナスを多くもらえるのよね。



財源が別にあってももらえるんならうれしいけど、全員のボーナスから差し引いて支給するわけだからね。もらう側も何だか複雑な気分だろうな。

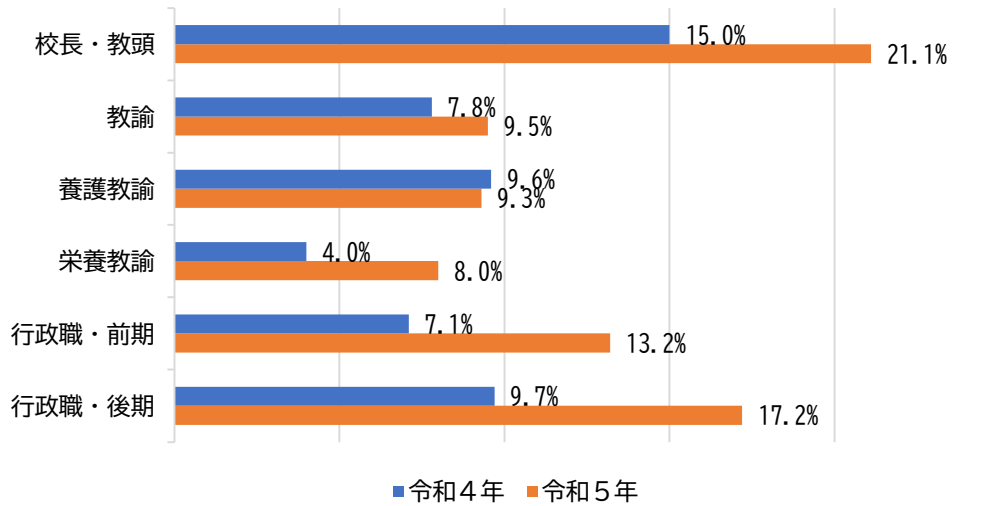


ここでも管理職との差が大きいわね。それにS評価の教諭が減っちゃったのはどうしてかな…。管理職は相変わらず優秀なのに…。

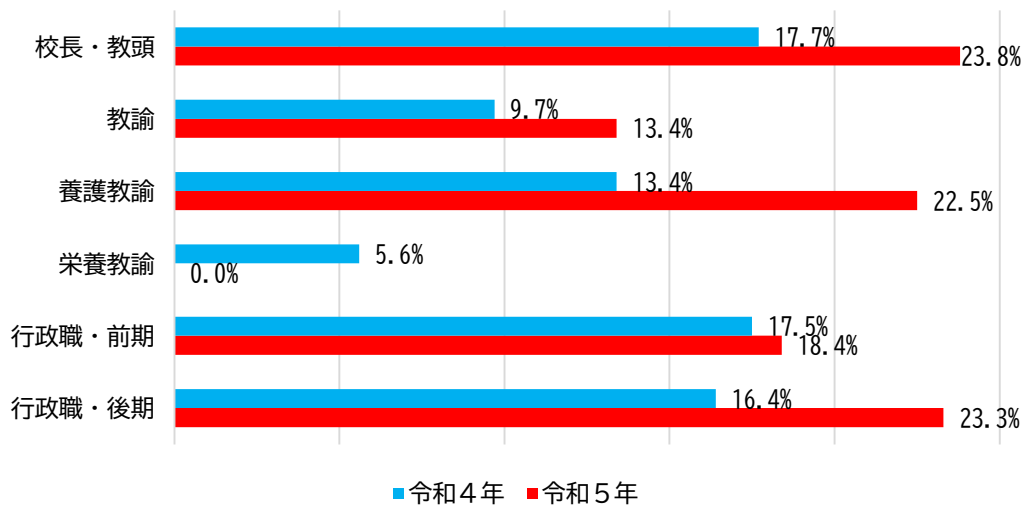


では、ボーナスアップや昇給になった人がどれだけいるか見てみよう。

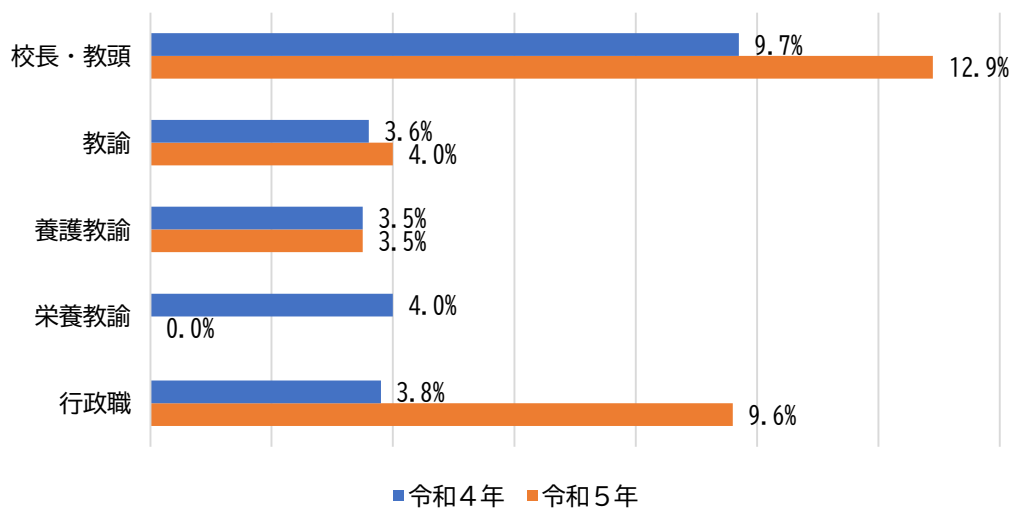
小学校・勤勉手当反映者（S・A合算）

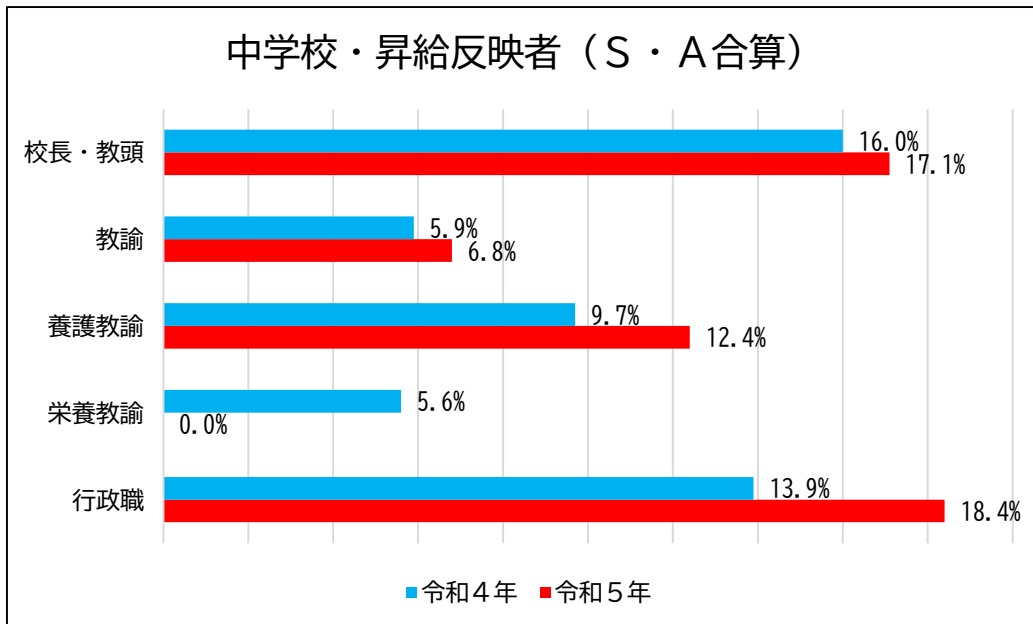


中学校・勤勉手当反映者（S・A合算）



小学校・昇給反映者（S・A合算）





こうして比べてみると、教諭がいかに冷遇されてるかわかるわね。「管理職への
お手盛り制度」と揶揄されるのも納得だわ。



「なぜ、急に数字が伸びたのか。」の問いに「評価者の理解が進んだから」とい
のが県教委の回答。



十数年も同じ方法でやってるのに、ここ1，2年でそんなに理解が進むもんなん
だね。



交渉で、ある組合員が言ってたよ。「客観性、公平性が本当にあると言えるのか。
5%、25%の数字があるからそれに合わせようとしているだけ。今後、その数
字にどんどん近づいていくのが目に見える。」とね。



ほんと。その通りになってきてるわ。



確かに法律で決められたことだけど、まともにやっているのは東北では青森だ
け。ボーナスは東北で一番低いのに、ボーナスから引き去るのは東北で一番高
い。



え～。そうなの。



組合では、今後も教育長懇談や課長交渉等で、制度の廃止を求めていきます。現
場からもご意見・ご要望を是非お寄せ下さい。